

私も若槻の住民です



若槻の皆さん、フルート奏者の宮岡由美子(みやおか ゆみこ)と申します。

私は生まれも育ちも吉。家もずっと吉で、根っからの土地っ子です。学校はもちろん若槻小学校、北部中学校で友人もたくさんいます。

恵まれた出発

職業はフルート奏者、クラシック音楽を中心に演奏しています。フルートを初めて手にしたのは北部中に入って部活で吹奏楽班を選んだ時から。父が音楽の教員をしていたこともあって「独奏が出来るし、フルートがいいんじゃないか」と、勧めてくれたことが、この道を進む原動力になりました。すぐにフルートを買ってもらいました。環境に恵まれていたことには感謝あるのみです。高校(長野西)では毎日の練習の傍

ら、2年からは月に1回、高名な先生に師事するため神奈川県茅ヶ崎市に通いました。片道4時間、まだ新幹線がない時代です。大学は武蔵野音大を出ました。

演奏活動はオーケストラのほかピアノ、ハープなどと組むデュオやトリオ、室内楽が多いですね。若槻にもハープの奏者がいて時折、一緒に演奏します。ここに(吉)居るのですから、若槻の皆さんに演奏を聴いていただきたいと思います。声をかけていただければ出来るだけご期待に沿うつもりです。

自分の演奏のほか自宅と長野市内2か所で教室も開いています。自宅の教室には信濃町や須坂市などからも生徒が来ます。楽器としてフルートは人気がありますね。また、音楽専科の小諸高校で、この春まで13年間にわたり講師を務めました。

フルートで貢献を

職業人として自らの演奏活動を第一とすれば、頼まれれば喜んで演奏もし、年寄りから子どもまで男も女も、フルートを習いたい人がいればいつでも教えます。両親の理解や後押し、周りの人の応援など私がかこまで来ることが出来た境遇を顧みて、大勢の皆さんに恩返ししたい。大袈裟に言えば様々な場面に出会いフルートで“貢献”することが、私の「人生訓」かもしれません。

長野市民の音楽に対する熱さ、あるいは音楽を受け入れる度量の深さといった面で、松本と比較

されることがよくありますね。確かに松本にはスズキ・メソード(バイオリンなどの幼児教育の世界組織)の本部があったり、旧制松本高校以来の知的な伝統から、音楽を含めて“文化的ムード”という意味では、長野より優っていると思います。

専用ホールが欲しい

施設的な面ではザ・ハーモニーホール(松本市音楽文化ホール)がいいですね。席数は700~800席程度の小・中ホールクラスですが、音



楽専用の目的で造られただけに音響が素晴らしく、再演を希望する演奏家が多いです。市の郊外で駐車場も確保されています。長野市でも市民会館の建設を巡って場所や規模などが論議されていますね。これまで私の経験からすると長野県県民文化会館(ホクト文化ホール)の中ホールが使いやすいと思います。仲間の評判もいいです。新しい会館も小規模でいいから音楽専用ホールを併設してもらえれば、と期待しています。

(構成 花岡広報委員長)